

平成22年度採用職員【事務職（身体障害）】

教育委員会上高津貝塚ふるさと歴史の広場勤務

■現在の業務について

上高津貝塚ふるさと歴史の広場は、昭和52年に国指定史跡となった「上高津貝塚」に整備された史跡公園と、平成7年に開館した考古資料館から構成され、平成18年には新治村との合併により武者塚古墳の石室に整備されている覆屋も付属展示施設となっています。

また、埋蔵文化財の発掘調査を行うなど、学芸員が活躍する部署となっています。

私の主な業務は、この史跡公園・考古資料館の維持管理に係る業者との契約や連絡調整だけでなく、公用車の管理や館の広報業務、電話対応やその他庶務全般を担当しています。

■特にやりがいを感じること

「市役所」という一般的なイメージとは大きく違った部署のため、異動してきた当初はそのギャップにとまどうこともありましたが、自分に任せられた仕事がひとつひとつ完了していくときや、考古資料館に来館した方に楽しんでいただいたときは大きなやりがいを感じます。また、土浦市の所有する文化財を単に保存・管理するだけでなく、市民の皆さんに公開し、後世に伝えていくことにも大きな責任とやりがいを感じて職務にあたっています。

■一言メッセージ

私が入庁した当時、2階建ての旧土浦市役所はエレベーターもなく私のように車いすで勤務したり、歩行に不安のある市民の方が市役所を利用したりするには大きな制限がありましたが、土浦駅前への市役所移転、図書館、消防本部の新築など、障害のある人にも利用しやすい施設整備が進んだことにより、職員にも働きやすい環境が整ってきたと感じています。市役所には市民の生活を支える仕事を中心にさまざまな仕事があり、多様な人材を求めています。一緒に未来の土浦をつくっていきましょう。